

ALEXA Mini SUP 5.0

Software Update Package SUP 5.0.26

RELEASE NOTES

Date: June 27th, 2017



新機能と変更点の概要 SUP5.0

§ ARRI Look Library:

87の広範囲な高品質ルックス集

§ Look files for HDR workflows

2つの、PQとHLGモニター用ルックファイルをプリインストールしました

§ EXT Sync

VFXプレート、VRリグ、他のマルチカメラアプリケーションの為に最高16台のカメラとセンサー同期

§ ARRI Master Grips support

ENGレンズ (AMIRA PL mount) の3軸コントロール、EFレンズマウントのフォーカス、アイリスコントロール、マスターグリップ特有のユーザーボタン

§ 1.3x anamorphic desqueeze in preview:

1.3倍アナモフィックレンズサポート

§ Multicam features

ユーザーからのフィードバックをベースに様々な改良

§ Camera Access Protocol (CAP)

APIベースのIPを通してのルックパラメーターコントロール

§ WCU-4 enhancements

レンズファイルをカメラにワイヤレスで送信、プレイバックコントロール、カメラ内ユーザーセットアップのローディング

§ ECS improvements

カメラを通してLBUSデバイスのアップデート、モーターギア歯の自動カウント、レンズマウントの非アクティブ化の選択

§ Improved timecode handling

ジャムシンクモードの追加 オフスピード撮影後のフリーランタイムコードの復旧

§ Extended support for EF lenses

EFレンズのフォーカス、アイリスコントロール。内臓スタビライザー対応

§ Advanced user setup handling

パラメータブロックを使用してカメラ内に複合的にユーザーセットアップをストア

§ WiFi infrastructure mode

プロダクションネットワークに接続できる

§ Monitoring and display improvements

Rec2020カラースペースをサポートしたARRI Look File V2、デュアル422 3G UHD、デュアル422 6G UHD、レベルA/B 3Gに対応、

StarLite HD5-ARRIでプレイバック、ユーザーセットアップコントロール対応、プレイバックのシャトルスピード最高512x

§ Miscellaneous improvements

シンプルな中国語のユーザーインターフェイス、EVIとSDIに水準器オーバーレイ、UDM-1のオーバーレイ

レコーディング又はプレイバック中のフレーム保存、OLEDのスイッチオフの選択、セッティングベースのユーザーボタンリスト

SUP5.0で修正された問題点

以前のSUPバージョンからのknown issueは、SUP5で修正されました

- | いくつかのデバイスで3G HD-SDIの出力にタイムコードが出力されない
- | 4K UHD, 3.2K S16モードでNTSC フレームレートがサポートされていない
- | 6G UHD-SDI出力にオーディオが乗らない
- | 6G UHD-SDI出力にカラーバーが出ない
- | ARRI RAWレコーディングでSDIにオーディオが乗らない
- | ARRI RAW 16:9 HD Anaモード4223G SDI信号は完全には機能していない、歪んでいる
- | オープンゲートのデフォルトでアナモフィック デスクイーズされていた
- | 3.2Kモードでビューファインダーはスケーリングノイズがある
- | いくつかのシグマのレンズに互換性の問題がある
- | ビルトインされたEFレンズのスタビライザーは、サポートされていない
- | HD-SDIゲンロックでフレームレートをスイッチするとゲンロックが外れる
- | ゲンロック同期の精度 ジッターがある
- | ゼブラとアパーチャピーキングを両方入れるとファルスエキスポージャー表示になる
- | ゼブラとファルスカラーはプレイバック中は無効
- | プレイバック後のタイムコードはシフトする可能性がある
- | 59.94又は60でインターレースのクリップを再生していて、ポーズ/プレイの時SDI出力に信号が出ない
- | プレイバックで速いスピードでリストを見ていると、ビューファインダーとSDI出力で、間違ったクリップを表示する
- | フレームグラフは、スタンバイモードのみで機能する

以前のSUPから変更

Lookの設定でLOOK>CONFIG、“Gamma”は“Processing”に名前を変更
EFレンズのアイリスコントロールは、1/8～1/4ステップに変更

新機能 SUP 5.0

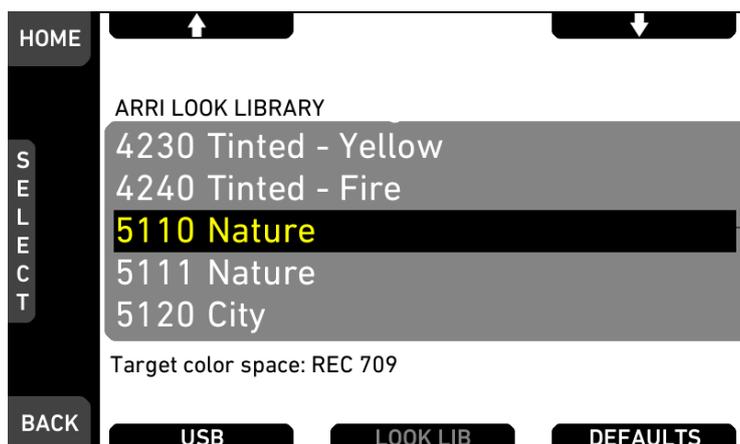
ARRIルックライブラリー

ARRIは高品質なルックを実現するための刺激的で新しい方法を紹介します。

特別仕立てのルックを撮影前に用意する時間的、予算的な余裕がなくとも、ARRI ルック ライブラリーは撮影現場でのルックマネージメントを、すべてのプロダクションが手の届くものにします。

各々3つの強さで87のルックスを提供し、ARRI ルックライブラリーは、巨大な種類の異なる撮影シナリオの要求を満たします。ルックスは、9つのグループのテーマがあります：

アプリケーション、白黒、対照、環境、フィルム、期間、季節、スペシャル、色調



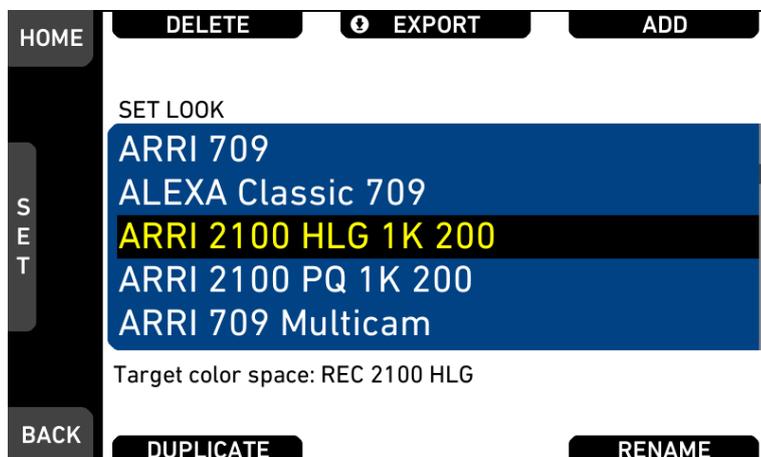
HOME > LOOK > EDIT > ADD > LOOK LIB

新 HDR Lookファイル

ARRI 2100 PQ 1K 200: PQ規格 (SMPTE 2084, ITU-R BT.2100) モニター用、PQレベル75%で最高ルミナンス1000cd/m²、ホワイトはルミナンス200cd/m²。

ARRI 2100 HLG 1K 200: HLG規格 (Hybrid Log Gamma, ITU-R BT.2100) モニター用、モニターは最高1000cd/m² であると想定する。この場合、映像はPQルックがPQ用モニターで使われるのと同じように見える。

HDRルックはモニター用として使用し、収録はLog Cで収録することを推奨します。



HOME > LOOK > EDIT

EXT Sync

EXT Sync機能は、最大15台のALEXA MINIカメラのセンサーとオペレーショナルパラメーターをマスターのALEXA MINIに同期させることができる。スレーブ側は、すべてのカメラの状態の概略を供給することもできる。マスターカメラのフレームレート、シャッターアングル、ND、の設定値を同様とみなすことができる。

MINI-EXT-sync ケーブル(K2.0009051)とEDB-2 分配器(K2.00013145)によって容易になり、まるで一台のカメラであるかのように、マルチカメラ全体の設定と制御することができます。EXT Syncは3D, VR, VFX, のアプリケーションのマルチカメラの設定と制御を単純化します。

HOME	SENSOR	
MENU	Image sharpness set/active	+0 /+0
	Image detail set/active	+0 /+0
	EXT sync	Off
	EXT sync camera count	EXT master
	Genlock sync	EXT sensor slave
	Sync shift (+0.000 us)	EXT settings slave
BACK	Mirror image	Off

HOME	SENSOR	
MENU	Image sharpness set/active	+0 /+0
	Image detail set/active	+0 /+0
	EXT sync	EXT master
	EXT sync camera count	16
	Genlock sync	Off
	Sync shift (+0.000 us)	+0000000
BACK	Mirror image	Off

HOME	EXT SYNC INFO			
	20007	A	19.0V	Ready
	20050	B	23.8V	Ready
	23311	C	23.7V	Ready
	23322	D	23.7V	Ready
	20006	E	23.6V	Ready
	SERIAL NO.	CAM ID PREFIX	POWER	STATUS

MENU > Sensor > EXT sync

MENU > Sensor > EXT sync camera count

HOME > i > EXT sync info

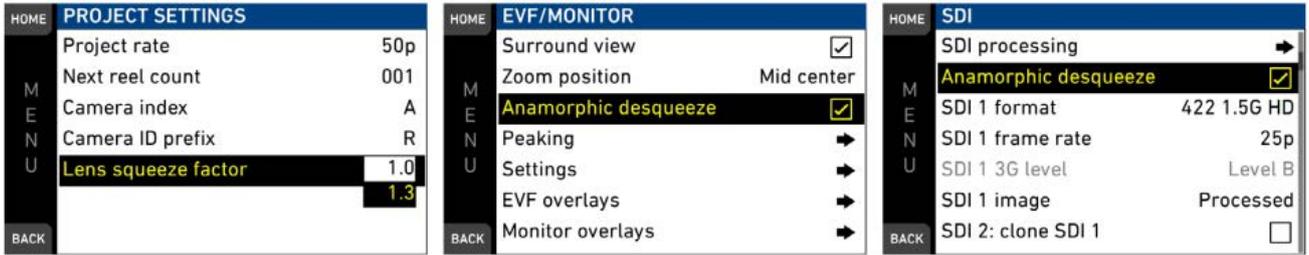
ARRI マスターグリップ



ARRI マスターグリップの機能が拡張されました。ENGレンズの3軸コントロール、ユーザーボタンの設定。EFマウントレンズのフォーカス、アイリスを正確に合わせることをできる、マスターグリップを使うことは、重さとコストのためにより小さいEFレンズを要求するオペレーターのためのより興味深いソリューションを提供します。

1.3x アナモフィック ディスクイーズ

MVF-1, CCP-1, SDI出力の1.5G, 3Gは、1.3xのアナモフィックレンズのディスクイーズに対応しました。



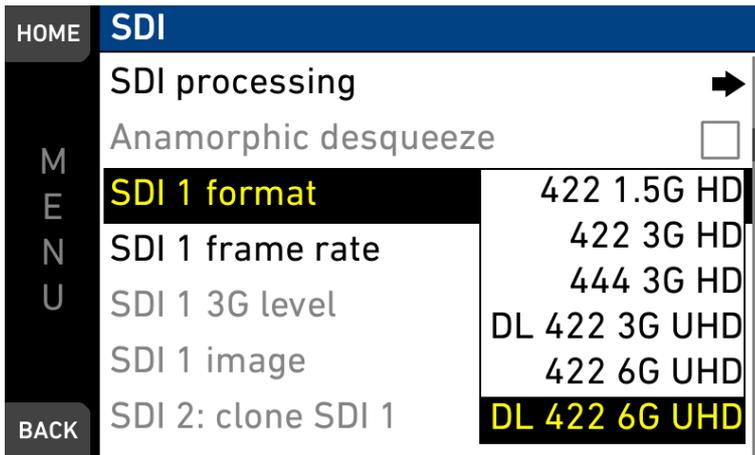
MENU > Recording > Project settings > Lens squeeze factor

MENU > Monitoring > EVF/Monitor > Anamorphic desqueeze

MENU > Monitoring > SDI > Anamorphic desqueeze

マルチカム機能

SDI出力がデュアル6G UHD SDIをサポートし、4K UHD 最大60fps 外部収録するのに十分なデータレートに改善。マルチカムモードで3D LUTで作成したラットをカメラにロードし使用することができる。作品のための個々のラットを事前に作成、カメラにロードしRCPで微調整することができます。



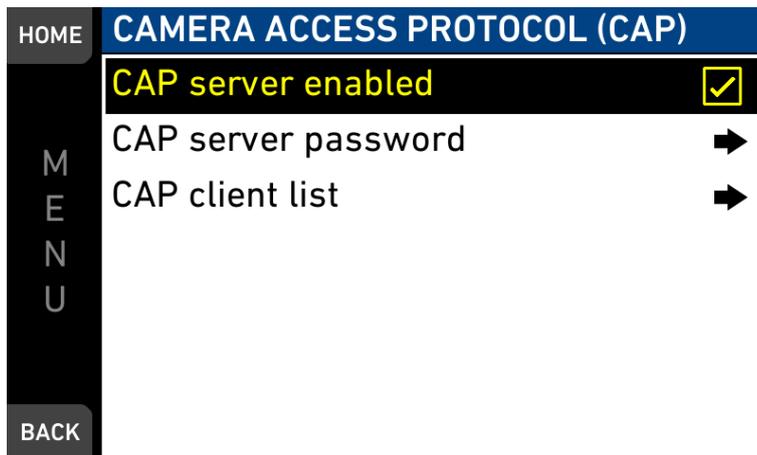
MENU > Monitoring > SDI > SDI 1/2 format

その他、EFレンズをRCPでアイリスコントロールできるように改良されました。

HD-SDIメタデータリターンスイッチコマンドや、同期、ゲンロックの向上

カメラアクセスプロトコル (CAP)

カメラアクセスプロトコルはAPI(Ethernet and WiFi)ベースのIPを通してルックのパラメータの修正ができる



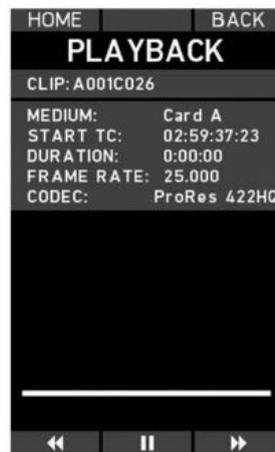
MENU > System > Camera access protocol (CAP)

WCU-4 機能拡張

LDSで使用するレンズファイルは、以前はUSBメモリーでカメラに移さなければなりませんでした。WCU-4のハンドユニットからワイヤレスでファイルを送信することができます。

WCU-4から、クリップの選択、プレイバック、シャトル、すべての再生コントロールができます。

カメラに保存されたユーザーセットアップにアクセスできます。離れた場所から素早く設定を変更できます。

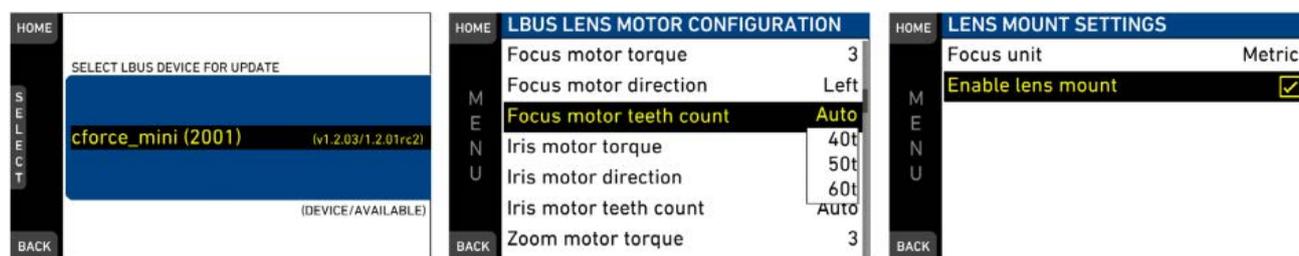


ECS 機能向上

cforceモーター、LCUBE、マスターグリップのようなLBUSデバイスをカメラからアップデートできる。モーターのギアの歯の数を自動で認識します。

レンズデータユニットはメタデータ内のメートルとフィート表示を変更できます。

動作に欠陥のあるレンズや、互換性に問題のあるレンズを使うときにLDS端子の機能を停止できる。



MENU > System > Update > LBUS

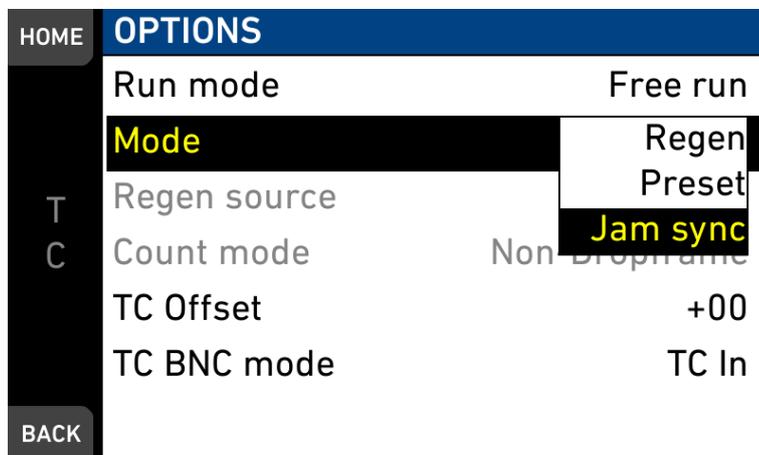
MENU > Electronic Control System (ECS) > LBUS Lens motor configuration

MENU > System > Lens mount settings

タイムコード、取扱いの改善

新しいジャムシンクモードは、外部ソースからのタイムコードを正確にサンプルしない。さらに、信号を分析し、カメラの内部発信機をソースに合わせます。重要なことに、これは、ズレの可能性を最小限にします。

ALEXA(MINIを除く)と異なることに気づいてください。分析し、調整するジャムシンクの処理は、最大30秒かかります。ジャムシンクされたタイムコードのズレは8時間以上で1フレーム以下です。



HOME > TC > OPTIONS > Mode

EFレンズサポートの拡張

EFレンズのフォーカスとアイリスのコントロール、内臓スタビライザーに対応しました。

進歩したユーザーセットアップの取扱い

1つのファイルにすべてのユーザー設定をストアしていた、ユーザーセットアップ機能を拡張しました。5つのパラメータグループ(General,Format,Scene,Lens,User)を使用し、部分的な設定を可能にしました。もっと柔軟に、もっと特殊な制御ができるようになりました。

複数の異なった設定がカメラ内にストアでき、USBメモリーは設定を移す時、必要とするだけになりました。



MENU > Setup > User setups installed

MENU > Setup > User setups installed > SAVE

MENU > Setup > User setups on USB > SAVE

WiFi インストラクチャーモード

このWiFiはネットワークインフラを基盤にした外部ハブによって形成されたWiFiネットワークに接続できます。一つのデバイスで複数のカメラにアクセスできます。ネットワークの設定は、QRコードで行えます。



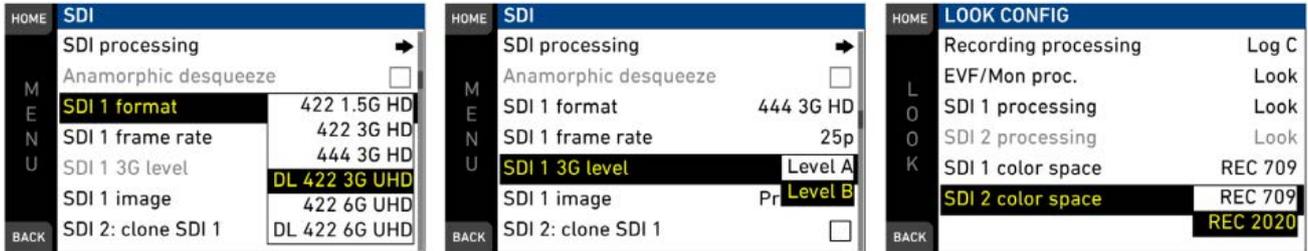
MENU > System > Network/WiFi > WiFi mode

MENU > System > Network/WiFi > WiFi network

MENU > System > Network/WiFi > WiFi network > Scan QR code

モニタリングと表示の向上

ARRI Look File V2はRec 2020カラースペースをサポート、デュアル422 3G UHD, デュアル422 6G UHD, 3G Level A/Bをサポート、Starlite HD5-ARRIでプレイバックとユーザーセットアップをコントロール、プレイバックは最高512倍速シャトル

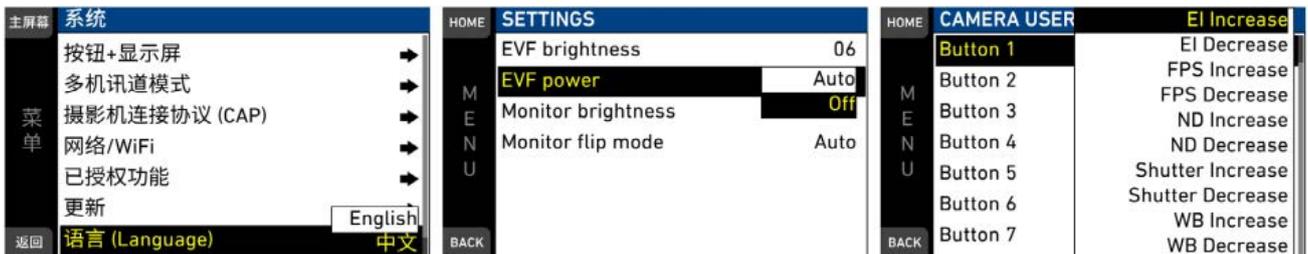


MENU > Monitoring > SDI > SDI 1/2 format MENU > Monitoring > SDI > SDI 1/2 3G Level

HOME > LOOK > CONFIG > SDI 1/2 color space

各種機能向上

シンプルな中国語のユーザーインターフェイス、収録中でも再生中でもフレームGrabができる。MVF-1のOLEDをスイッチオフできる。ユーザーボタン用の EI、センサーfps、NDフィルター、シャッター、ホワイトバランスのような基本的な設定のリスト



MENU > System > Language

MENU > Monitoring > EVF/Monitor > Settings > EVF power

MENU > User buttons

Known Issues

アクセサリ

Canon HJ18 B4 lensでレコード スタート/ストップ

Canon HJ18 B4レンズで、ARRI B4マウントとヒロセケーブルで接続していて、Rec/Stopが機能しない場合は、レンズの[Reset all]を行ってください。

AMIRAとALEXA MINIでのUSBデバイス

USBメモリー又はペンドライブのみ対応、ハードドライブ等は認識しない。

フレームグラブ

プレイバックのポーズ状態でインターレース S16又はHDではフレームグラブできない

フレームグラブするためにプレイ 巻き戻しをして、適切な位置でフレームグラブしてください。

ARRI RAWプレイバック時のフレームグラブ

ARRI RAW素材をプレイバックしたものをフレームグラブするとエッジに明るさの異なる部分が出る。

インプット/アウトプット

HD-SDIゲンロックはHD-SDI 422 1.5Gと3G信号に制限される

HD-SDI 444と422 6G 信号はゲンロックできません。

syncソースを繋ぐとSDI出力が一瞬無くなる

ゲンロックソースやタイムコードソースを繋ぐと再同期します。再同期中は映像が出力されません。

3.2K、1.3xアナモフィックディスクイーズ

3.2K、1.3xアナモフィック、ディスクイーズしている時、EVF/Monitor、SDI出力にスケーリングノイズが発生する。収録には影響ありません。

ALEXA Mini SUP 5.0

リリースノートのすべてのデータ、題目は、通告なしに変更されます。

タイムコード同期時のSDI出力

同期ソースとしてタイムコードを使用した時、SDI出力は同期ソースに対して正確に同期していない。同期ソースに対して正確なSDI出力を出力するために、3値ゲンロック信号を使用してください。

タイムコード出力でカメラは同期しない

1台のカメラのタイムコードをもう一台のカメラに入力しても2台のカメラは同期しない。外部タイムコード使用してください。

SDI出力設定時、一瞬無映像

SDI出力を6Gに設定した時、又は、6Gから他の設定にした時に、映像が一時的に、出力されない。

メディア

ALEXA XTやSXTでフォーマットされたCFast2.0カードは、ALEXA Mini/AMIRAで使用できない

ALEXAカメラでフォーマットしたCFast2.0カードはALEXA Mini/AMIRAで、再度イレースしてください。

SUP4.0以上でCFast2.0カードを使用するには使用前にイレース必要

SUP4.0以上のカメラでイレースしたカード以外、SUP4.0以上のカメラでは使用できません。以前のSUPで使用したカードはSUP4.0以上のカメラで再度イレースしてください。

メタデータ

SDIレンズメタデータとARRIRAWクリップ内は常にメーター表示

SDI信号に重畳されるレンズメタデータとARRIRAW MXF内に入るレンズデータは、レンズマッピングやLDSレンズにかかわらず、常にメーター表示です。

チルトとロールメタデータは正確でない

メタデータ内のチルトとロールの値は、VFXアプリケーションで使用するには充分正確とは言えない。

プレイバック

プレイバック時、ピーキングは機能しない

プレイバック中ピーキングが必要ないのであれば、ピーキングを切ってください。

カメラボディーでクリップリストを操作すると選択クリップがモニターに表示しない

カメラボディーのボタンで再生リストを操作するとビューファインダーモニターに表示された、選択されたクリップが表示されない。

HDR Lookで収録したクリップはMVF/EVFで正確に表示しない

HDR Lookで収録されたクリップの再生は、MVF/EVFでは正確に再生されません。モニターだけの問題で、収録したものには影響ありません。HDR Lookを収録することは推奨しません。

ProRes4444XQクリップをカメラで再生

ProRes4444XQのクリップをカメラで再生した時、ジッターや映像が分割されたりします。収録したクリップには問題ありません。

ノンリニアオーディオ プロジェクトレート59.94

プロジェクトフレームレート59.94PでProResクリップを再生する時、SDIとヘッドホンのオーディオはノンリニアではない。

レコーディング

レコード中の E.I W.B の変更

レコーディング中に、感度やホワイトバランスを変えることは可能です。1つのフレームに二つの異なる特徴が含まれます。

最大クリップサイズのエラーメッセージ

非常にまれなケースで、“Recording stopped-maximum clip size reached”と表示され、収録が止まります。これは非常に細かいものをProRes LTのようなデータレートの低いモードで撮影した時におきます。

"STRONG" mode のImage denoising

Image denoisingのSTRONGは早い動きに影響を与えます。使用する前にテストしてください。

インターバル収録で正しくない残時間が表示される

容量の多いCFast2.0カードでインターバル収録をした時、間違った残り時間を表示する。

2K収録時、HD-SDI出力のスケーリング品質の制約

モニターとしては十分な画質と考えられるが、2K解像度からHDにダウンスケールしているため、SDI出力をマスター収録する画質ではない。HD-SDI出力をマスター収録する時は、収録フォーマットをHDにしてください。

1枚のCFast2.0カードでクリップ数400に制限

一枚のカードに400クリップ以上の収録はできません。通告なしに収録ができなくなります。

CFast2.0カードに収録中に電源が切れた

収録中にカードを取り出したり、カメラがカードに書き込んでいる途中で突然電源が切れた場合は、フォーマットが必要です。ERRORを表示する。カードの損傷を避ける、又は、次の収録のためにワーニングの説明に従ってください。もし何も警告がない場合は、ARRIサービスに連絡してください。

プレイバックからの収録スタート

プレイバックから直接収録スタートはできない。このような場合、2回レコードボタンを押してください。

MPEG又はARRIRAWモードでのプレイバックからの収録スタート

プレイバックから直接、MPEG又は、ARRI RAW収録スタートすると

“Recording Stopped due to FPGA failure.Please reboot camera.”とエラーメッセージが出て収録できません。収録スタートする前にプレイバックモードから出てください。

タイムコード

タイムコードを使用して2台のカメラを同期

タイムコードモード[regen]で、タイムコード同期で2台のカメラを同期している時、30fpsより上のプロジェクトレートで、いくつかの収録したクリップで、1フレームのズレが生じる。

JAM SYNCモードからREGENモードに切り替え

[Jam-sync]から[Regen]モードに切り替えると“LTC signal is missing”と警告が出る。この時は一度[Preset]にしてから[Regen]にしてください。

LTCでのセンサー同期は、正確なタイムコードジェネレーターが必要

カメラをLTCタイムコード信号でゲンロックさせる場合、ジッターのない正確なジェネレーターが要求される。一般的なLTCタイムコード源として問題ないデバイスがLCDゲンロック源としては、動作しないかもしれない。

Usability

いくつかのフォーマットでモニターのアナモフィックディスクイーズは解除できない

ProRes HD Anaと2.39:1 2K Anaはモニターのアナモフィック ディスクイーズは解除できません。

プレイバック中のCAPサーバーからのフレームグラフ

CAPを通してのプレイバック中のフレームグラフは、ライブ映像をフレームグラフします。

ファイルネームは28文字まで

ファイルネームは28文字以上は使用できません。

ライセンスはカメラメニューから削除できる

インストールされたライセンスはカメラメニューから削除できます。対応した機能も削除されます。ライセンスを再インストールするには、再ロードするために、個々のカメラに適したライセンスキーが必要です。もし、プリインストールライセンスを同梱しているカメラセットを購入しているならば、カメラと一緒に入っているUSBメモリーにライセンスキーが入っています。

ミラーイメージのパーティカルはフレームグラフには、適用されない

ミラーイメージを設定している時、フレームグラフには水平のフリップしか適用されない。

レンズファイルが編集されるとモーターキャリブレーションが要求される

今、動作しているLDAレンズファイルがWCU-4で編集されLDSレンズが装着されると、カメラはモーターキャリブレーションの要求をする。この時はもう一度モーターのキャリブレーションをしなければならない。

LDA使用時、LDSはoffになる

LDAを使用する時に注意してください、LDSの接点は、スイッチオフになります。これは説明書には書いていないが、意図的に行っています。LDAを使用している時、手動で切る必要がない。

タイムコードジャムシンクとゲンロックシンクの同時使用は、サポートしていない

タイムコードのジャムシンクモードまたは、ゲンロックを使用すると、カメラは、供給元の時間に一致した内部オシレータに合致しています。したがって、タイムコードジャムシンクとゲンロック組み合わせ使用はできません。

Starlite-HD5ARRIはメニュー画面が出ていなくても設定変更、録画をする

もし、Starlite-HD5 ARR1がカメラのSD1出力[CLEAN]に繋いでいたら、気が付かずに設定が変更されているかもしれません。SD1出力が[PROCESSED]になっているかを確認してください。

出力“processing”が“ALEXA Classic 709”の時波形“exposure tool”は解除される

HDRのコンテンツを撮影中は、ALEXA Classic 709出力に設定すると波形 exposure toolは機能しません。無通知で機能は解除されます。MVF-1のユーザーボタン、EXPボタンも効きません。

ステイタスオーバーレイのチルトとロール

水準器、チルト、ロールの値は、誤った読み取り値を示す可能性がある。

アップデートされたEFマウントはSUP4.0と互換性なし

カメラのソフトウェアSUP4.0に戻しても、EFマウントのソフトウェアはダウングレードしない。この場合EFマウントをSUP5.0にアップデートしてしまったものは機能しない。

以前のSUPで制作作成したセットアップファイルは、SUP5.0と互換性なし

以前のSUPの時に作成したセットアップファイルは、SUP5.0のカメラではロードできません。新しく作成する必要があります。

WBユーザーボタンincrease/decreaseはAuto WB表記をスキップ

ユーザーボタンはホワイトバランス プリセット リストのAuto WBの表記をスキップします。

EVF/Monitor gammaがLOG CにセットされるとZebraは機能しません

EVF/MonitorがLOG CにセットされるとZebraは機能しません。Log Cの時は波形モニタが[false color]で露出値をチェックしてください。

ビューファインダー

MVF-1とCCP-1

MVF-1とCCP-1をデジーチェーンでつなぐ前に、MVF-1をカメラに繋いでSUP5.0にアップデートしてください。

長時間ビューファインダーの接近センサーをカバーしないでください

常時MVF-1の接近センサーを塞いでいるとOLEDが焼きつき戻らなくなる。もしEVFを覆う必要がある場合は、EVF power setting MENU>Monitoring>EVF/MONITOR>Seting>EVF PowerでEVF OLEDの機能を切ってください。

シリアルナンバー2150までのMVF-1、改良されていないアイピース

ビューファインダーは時々スイッチオンにならない。適した角度でMVFに近づかないと正確に作動しない。

HE-6ヒーターアイカップは互換性がない

HE-6ヒーターアイカップを使用中は、接近センサーがOLEDを作動させている状態になります。

このため、電源をオフにできず、ディスプレイ上の表示が焼き付くことがあります。

これを回避するには、新しいHE-7ヒーターアイカップを使用してください。

シリアルナンバー2151以降のすべてのMVF-1に互換性があります。

4:3 2.8Kモードでアナモフィックディスクイーズするとビューファインダーにノイズ

このノイズは、ビューファインダーだけで収録したものにはありません。

低いフレームレートでZOOM または、SURROUND VIEW

5fpsより低いフレームレートで、Zoomまたは、Surround viewを使用するとMVF-1/Monitorの映像が一瞬切れる。

ワイヤレス

WiFi接続の範囲は、限度があります

カメラリモート使用中、WiFi 接続を頻繁にリロードする場合、WiFi の伝送範囲外にいることを示しています。

カメラに近づくかイーサネット(有線)接続してください。

クライアントモードで WiFi ネットワークに接続されるインストラクチャーモードを考慮することもできます。

: MENU>SYSTEM>NETWORK/WIFI>WIFI MODE